



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校

令和6年度 11月号

校長 村越 さゆり

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成

～ やさしく かしく たくましく ～

運動会 がんばりました！

運動会はいかがでしたか。実は先生方は、夏休み中から演技や団体競技の内容を、各学年で思考を凝らし、準備していました。子どもたちの練習は9月下旬より取り組んできました。始めは体育館で自分自身の演技の振りを覚える練習、それから徐々に運動場で隊形を覚える練習に取り組みました。演技だけでなく、団体競技も真剣に練習を重ねました。練習では、お天気にも悩まされることもありましたが、当日のでき栄えは、素晴らしかったのではないのでしょうか。6年生の女子が運動会2～3日前に校長室に来室し、「なんかあつという間に過ぎちゃった、でも、頑張りたい。」という意気込みを話してくれて、これで最後ののだということをかみしめていました。どの学年にも、運動会にかける意気込みを感じていました。

運動会当日は、曇り空で少し肌寒かったですが、元気いっぱいの運動会になりました。1年生は、いるだけでみんなを喜ばせてくれる存在であり、そんな子どもたちの良さが引き出され、一人一人とても楽しんで踊る姿があり、クラスカラーのマントで、かわいらしさが引き立ちました。6年生が1年生のマントを見て、「6年生の法被の1年生版だね」と喜ぶ姿を目にしました。2年生は、立派に踊りを覚えて、隊形移動も上手にできていました。学年全員で大きな円に広がる場所も、とてもきれいに均等に円になっていて感動しました。振りも大きくしっかりできていて、かわいさと、しっかりやれる頼もしさを感じました。3年生は、2曲の踊りを見事に披露してくれました。子どもたちは2曲をやりきる勢いがありました。鳴子は一人一人みな違って、それも見どころでした。3年生ソーラン節から6年生ソーラン節へのバトンを渡したという印象を受け、他学年へのつながりも感じました。4年生は、軽快な曲にステップが決まっていた。リズムカルなダンスでしたが、自分のお気に入りのTシャツを身に纏い、リズムに乗った腰の横振り、楽しさが湧き出して、ライラックの花言葉『友情』と『青春』を感じました。5年生は、アラジンの世界をフラッグとダンスで表現し、息を合わせる楽しさを実感できた瞬間だったのではないのでしょうか。見ている人に感動を与え、見ている人だけでなく、子どもたちもやり遂げた高揚感や満足感を味わえた演技だったと思います。6年生のソーラン節は、一体感と迫力感がありました。子どもたちにとっては、最後の運動会としての意気込みもさることながら、最高学年という役割をやり遂げた演技でした。他学年からも憧れられる、頼られる存在という自覚も持ちながらの演技、圧巻でした。

全学年、演技だけでなく、団体競技も競い合いながら、楽しく、真剣に取り組むことができました。

保護者の皆様、地域の皆様、運動会に向けて、子どもたちを支え、励ましてくださり、ありがとうございました。また、当日も温かいご声援をいただき、子どもたちもやる気が倍增しました。心より感謝申し上げます。

3・4年生の水泳学習があります

今年度の7月8日に『プール施設の破損に係る水泳学習停止について』でお知らせしておりましたが、教育委員会と調整・検討し、1度も実施できていなかった3・4年生において、水泳学習を施設利用型で1回ずつ実施できることになりました。12月以降になりますが、3・4年の各学年からのお知らせをご確認ください。4年生が12月中、3年生が1月中に予定しております。